

がん化学療法プロトコール

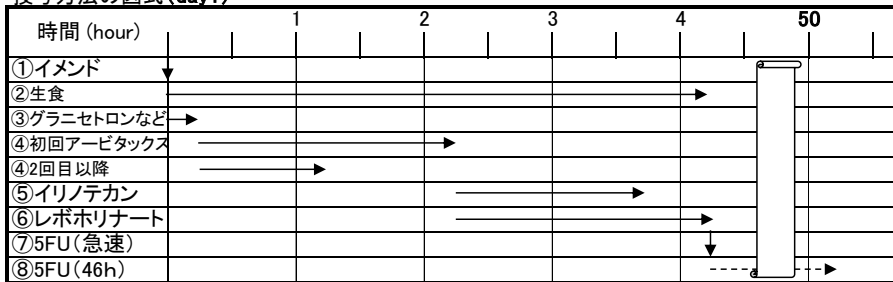
氏名: \_\_\_\_\_  
 ID: \_\_\_\_\_  
 体表面積: \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> 体重: \_\_\_\_\_ kg

プロトコール名 **FOLFIRI+セツキシマブ**  
 対象疾患 進行・再発の結腸・直腸がん  
 診療科 外科、消化器内科  
 施用者 \_\_\_\_\_

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

投与薬剤名	投与量	投与可能量 (mg)	溶解、希釈液	投与方法
<b>day1</b>				
① イメンド	1セット(3日分)			1日目を、CPT11開始60分以上前に服
② 生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	デキサート	6.6mg/2mL (2A)	混注	15分かけて点滴
	ボララミン	5mg/1mL (1A)		
	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		
④	アービタックス	初回:400mg/m <sup>2</sup>	生食250mL	2時間で点滴(総量250mL)
		2回目以降:250mg/m <sup>2</sup>	生食100mL	1時間で点滴(総量100mL)
⑤	イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	5%糖液250mL	90分で点滴
⑥	レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	5%糖液250mL	2時間で点滴
⑦	5FU(急速)	400mg/m <sup>2</sup>	生食20mL	2分で急速静注
⑧	5FU(46時間)	2,400mg/m <sup>2</sup>	生食	46時間持続静注
<b>day8</b>				
①	生食	250mL		血管確保とフラッシュ
②	デキサート	6.6mg/2mL (2A)	生食50mL	15分かけて点滴
	ボララミン	5mg/1mL (1A)		
③	アービタックス	250mg/m <sup>2</sup>	生食100mL	1時間で点滴(総量100mL)

2 投与方法の図式 (day1)



3 投与スケジュール

1クール14日間。アービタックスは毎週。FOLFIRIは2週毎に行う。

4 特記事項

- ・ アービタックス単剤の日は投与終了1時間後まで血管確保の生食は継続し、経過観察。
- ・ 携帯型ディスプレイ注入ポンプの調製は換算表を用いて生食の充填量を計算する。